



平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年12月6日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東
 コード番号 2910 URL http://www.rockfield.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 弘三
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長兼経理部部长 (氏名) 伊澤 修 TEL 078-435-2800
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月12日 配当支払開始予定日 平成26年1月20日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績（平成25年5月1日～平成25年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	23,983	—	562	—	593	—	321	—
25年4月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年4月期第2四半期 313百万円 (—%) 25年4月期第2四半期 -百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	24.21	—
25年4月期第2四半期	—	—

(注) 平成25年4月期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年4月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第2四半期	28,412	22,885	80.5	1,723.22
25年4月期	28,851	22,863	79.2	1,721.59

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 22,885百万円 25年4月期 22,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	18.00	—	22.00	40.00
26年4月期	—	18.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	27.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想（平成25年5月1日～平成26年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,600	3.6	2,443	29.0	2,478	30.1	1,351	53.4	101.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年4月期2Q	13,394,374株	25年4月期	13,394,374株
② 期末自己株式数	26年4月期2Q	113,645株	25年4月期	113,645株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年4月期2Q	13,280,729株	25年4月期2Q	13,280,941株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は平成25年12月9日に機関投資家及びアナリスト向けに説明会を開催いたします。説明会で配布する決算説明資料は、説明会開催後速やかにTDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年5月1日～平成25年10月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や雇用・所得環境の改善により雇用者の消費マインドの持ち直しの傾向が見られるものの、一方で海外経済の下振れの懸念等もあり、依然として予断を許さない状況が続いております。全国百貨店売上高は、一部の高額品について消費回復の動きがあるものの、中食業界におきましては、コンビニエンスストア等の他業態におけるおそうぎの販売強化や、都市部の百貨店のリニューアルや増床等に伴い競合店舗数が増加するなど、当社を取り巻く競争環境は益々厳しさを増しております。

このような状況の中、当社は「The Mirai Salad Company」を目指し、基本品揃えや丁寧な販売、積極的な販売等を引き続き行うとともに、今日のおそうぎに限らず、明日以降もお召し上がりいただけるおそうぎ、ギフトとしてご利用いただける商品の取り揃えにも取り組んでまいりました。しかし、秋口からの台風や大雨による集客の落ち込みや原材料価格の高騰等の影響により、計画した売上高、利益を確保できず総じて厳しい状況で推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は23,983百万円、営業利益は562百万円、経常利益は593百万円、四半期純利益は321百万円となりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		平成26年4月期 第2四半期（連結）		対前期比
		売上	構成比	
R F 1	サラダ	百万円 10,192	% 42.5	% —
	フライ	4,012	16.7	—
	その他そうぎ	3,078	12.9	—
	小計	17,283	72.1	—
神戸コロッケ		1,686	7.0	—
いとはん		1,684	7.0	—
融合		362	1.5	—
ベジテリア		1,031	4.3	—
グリーン・グルメ		1,827	7.6	—
その他		106	0.5	—
合計		23,983	100.0	—

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「R F 1」ブランドにおきましては、基本品揃えの継続を行いながら高付加価値商品の提案を行いました。サラダでは「3種海の幸の贅沢マリネ レモン風味」や「北海道産炙り帆立と2色シトラスのカルパッチョ風サラダ」等、素材力を活かした商品をプレミアムサラダとして展開しました。また、フライにおきましても、当社の価値観である鮮度や健康といった要素を反映させた「淡路産ちりめんのつまみ揚げ」等の展開を行いました。その結果、売上高は17,283百万円となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、コロッケをより美味しく、より楽しく提供するために品質の向上と新商品の導入に努めました。口当たりをさらになめらかにした「たらば蟹のクリームコロッケ」を展開するとともに、もっちりとしゃきしゃきの2つの食感が楽しめる旬の秋ごぼうを使用した「九州のモチっとごぼうコロッケ」等、季節限定商品の販売も行いました。その結果、売上高は1,686百万円となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、主菜と副菜をトータルで食卓提案できる品揃えを行うために、季節感のある素材を使用した和さらだと主菜になるおかずの提案に取り組みました。「無花果と燻製チキンの和さらだ」をはじめとする人気の和さらだと合わせてお楽しみいただけるように、「メロカマの照り焼き」や「さんまの甘辛揚げ エリンギ添え」等の新しいおかず商品を展開しました。その結果、売上高は1,684百万円となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、野菜ジュースの強化や新たな素材を使用したフルーツジュースの展開

を行いました。基幹商品である「緑の健康バランス30品目」に加え、「1食分の野菜が摂れる！濃厚緑の30品目」を販売し、健康意識の高いお客様から好評を博しました。また、10月には厚生労働省の展開するスマートライプロジェクトに参画し、日本人に不足している1日70gの野菜が1杯で補えるジュースの訴求を行いました。その結果、売上高は1,031百万円となりました。

なお、前連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません。また、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて439百万円減少し、28,412百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少254百万円、有形固定資産の減少226百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて461百万円減少し、5,526百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少355百万円、リース債務の減少89百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少70百万円、買掛金の増加93百万円等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて21百万円増加し、22,885百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は80.5%、1株当たり純資産額は1,723円22銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて374百万円減少し、8,228百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、876百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益592百万円、減価償却費877百万円、法人税等の支払額560百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、674百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出361百万円、定期預金の預入による支出120百万円、長期前払費用の取得による支出119百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、582百万円となりました。これは、主に配当金の支払額291百万円、リース債務の返済による支出219百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年6月11日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績推移に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,903	8,648
売掛金	3,735	3,688
製品	61	61
仕掛品	70	107
原材料及び貯蔵品	203	311
その他	512	475
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,484	13,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,429	7,256
土地	2,948	2,948
その他（純額）	2,100	2,046
有形固定資産合計	12,477	12,250
無形固定資産		
その他	630	625
無形固定資産合計	630	625
投資その他の資産		
その他	2,293	2,253
貸倒引当金	△34	△10
投資その他の資産合計	2,259	2,243
固定資産合計	15,367	15,119
資産合計	28,851	28,412
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,179	1,272
1年内返済予定の長期借入金	222	77
未払法人税等	606	251
賞与引当金	492	507
その他	2,848	2,777
流動負債合計	5,349	4,887
固定負債		
長期借入金	—	74
その他	638	565
固定負債合計	638	639
負債合計	5,988	5,526

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	11,560	11,590
自己株式	△209	△209
株主資本合計	22,756	22,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	55
為替換算調整勘定	35	44
その他の包括利益累計額合計	107	99
純資産合計	22,863	22,885
負債純資産合計	28,851	28,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年5月1日
至 平成25年10月31日)

売上高	23,983
売上原価	10,242
売上総利益	13,741
販売費及び一般管理費	13,178
営業利益	562
営業外収益	
受取配当金	3
保険配当金	14
貸倒引当金戻入額	12
その他	10
営業外収益合計	39
営業外費用	
為替差損	6
その他	3
営業外費用合計	9
経常利益	593
特別損失	
減損損失	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	592
法人税等	271
少数株主損益調整前四半期純利益	321
少数株主利益	—
四半期純利益	321

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年5月1日
至 平成25年10月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	321
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△16
為替換算調整勘定	9
その他の包括利益合計	△7
四半期包括利益	313
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	313
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年5月1日
至 平成25年10月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	592
減価償却費	877
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24
受取利息及び受取配当金	△4
支払利息	1
減損損失	0
売上債権の増減額 (△は増加)	46
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△146
仕入債務の増減額 (△は減少)	93
その他	△18
小計	1,433
利息及び配当金の受取額	4
利息の支払額	△1
法人税等の支払額	△560
営業活動によるキャッシュ・フロー	876
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△120
有形固定資産の取得による支出	△361
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△65
長期前払費用の取得による支出	△119
差入保証金の差入による支出	△25
差入保証金の回収による収入	16
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△674
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	85
長期借入金の返済による支出	△155
リース債務の返済による支出	△219
配当金の支払額	△291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△582
現金及び現金同等物に係る換算差額	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△374
現金及び現金同等物の期首残高	8,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,228

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。